

別添 3-3 その他の内容

1	土地利用の概要	3-13
	(1) 土地利用の現況	3-13
	(2) 土地利用計画	3-15
2	廃棄物処理施設計画	3-33
	(1) 機種選定	3-33
	(2) 主要施設等の概要	3-34
	(3) 焼却施設整備計画	3-35
	(4) 不燃ごみ等選別施設整備計画	3-39
	(5) 公害防止に係る計画目標値	3-40
	(6) 環境保全計画	3-41
	(7) 給水及び排水計画	3-42
	(8) 余熱利用計画	3-42
	(9) 危険物等	3-42
	(10) 電気及びガス供給	3-43
	(11) 搬入計画	3-43
	(12) 計画焼却施設と現有焼却施設の比較	3-45
3	発生土処分場計画	3-46
	(1) 長坂埋立地の概要	3-46
	(2) 排水計画	3-47
	(3) 電気供給	3-48
	(4) 廃棄物・発生土	3-48
	(5) 緑化(跡地利用)	3-48
	(6) 防災・安全計画	3-48

4 宅地の造成計画	3-49
(1) 雨水排水	3-49
(2) 廃棄物・発生土	3-49
(3) 緑化計画	3-49
(4) 防災・安全計画	3-49

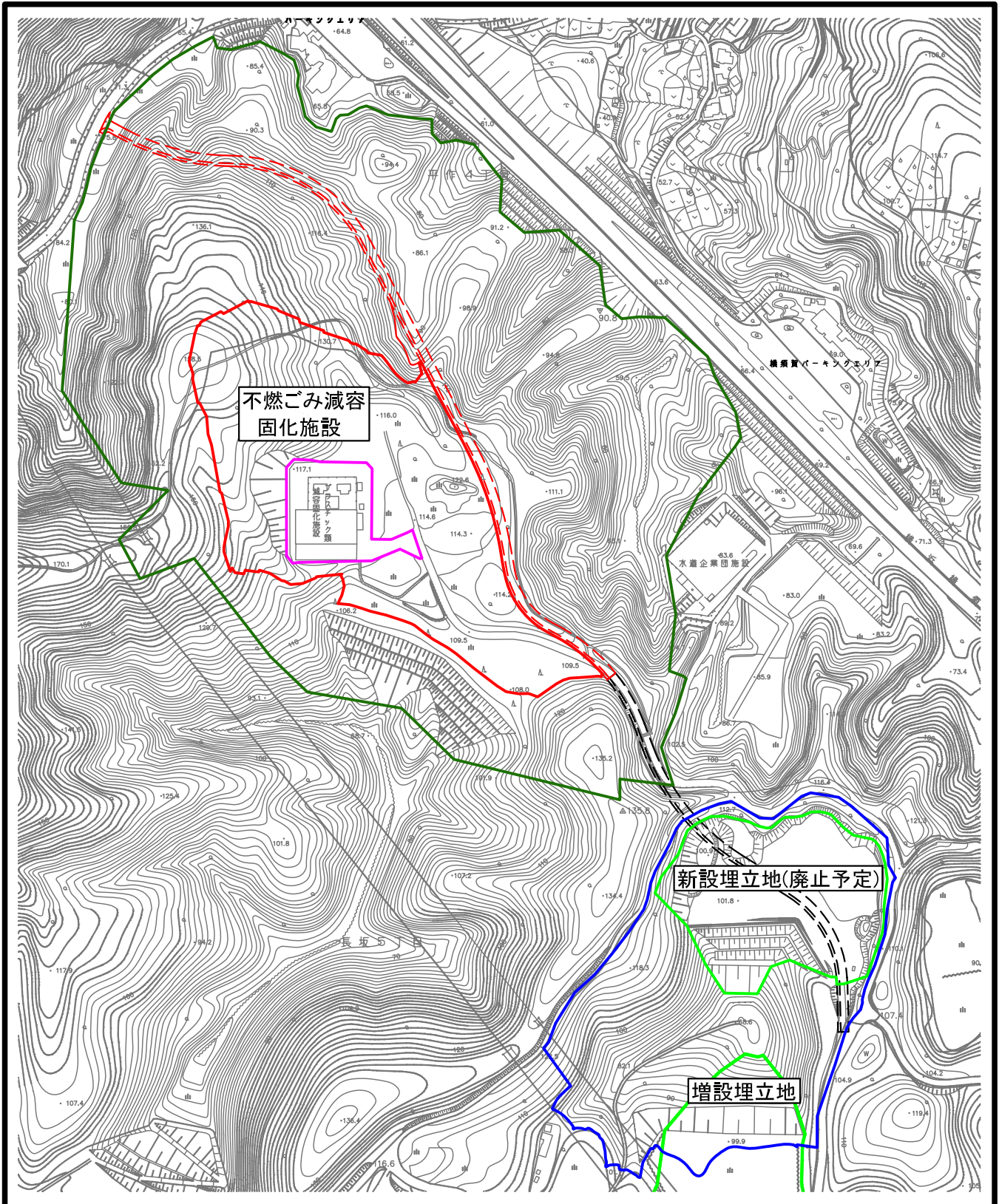
別添 3-3 その他の内容

1 土地利用の概要

(1) 土地利用の現況

土地利用の現況は、図 3-4 に示すとおりである。

廃棄物処理施設の建設、宅地の造成事業に係る実施区域は広く山林となっており、一部に解体予定の不燃ごみ減容固化施設が存在している。一方、発生土処分場に係る事業の実施区域には新設埋立地（廃止予定）及び増設埋立地が存在する。



凡 例

- ▭ : 廃棄物処理施設
(宅地の造成を含む)
 - ▭ : 宅地の造成
(残置森林(最大範囲))
 - ▭ : 発生土処分場
 - - - : 新設搬入道路
 - - - : 既設改修道路
 - ▭ : 不燃ごみ減容固化施設
- ▭ : 埋立地

注) 宅地の造成(残置森林(最大範囲))には、搬入道路の新設、既設道路の改修に伴い形成される法面等を含んでいる。



図3-4 土地利用の現況

(2) 土地利用計画

1) 廃棄物処理施設

本事業における土地利用計画の概要は表 3-7、図 3-6 に示すとおりである。

廃棄物処理施設区域の面積は約 6.2ha であり、焼却施設、不燃ごみ等選別施設、管理棟、駐車場等の主要な施設を配置する。

表 3-7 土地利用計画の概要

区分	面積(ha)	備考
施設用地	約3.7	焼却施設：約5,500m ² 不燃ごみ等選別施設：約2,300m ² を含む
場内道路	約0.1	
雨水調整池 (外周管理通路含む)	約0.3	
造成法面(擁壁含む)	約2.1	
計	約6.2	

また、本敷地へのアクセスを確保するため搬入道路を新設（約 700m）、既設道路を改修（約 400m）する。これらの標準断面は図 3-5 に示すとおりである。

なお、既設道路の改修には、発生土処分場における残土受入のピーク終了後、当該敷地内への付け替えを含むものである。

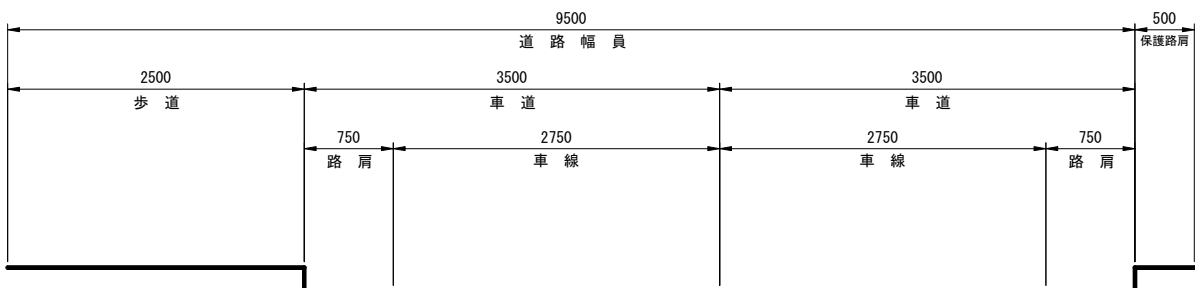


図 3-5 新設搬入道路・既設改修道路標準断面

(空白)

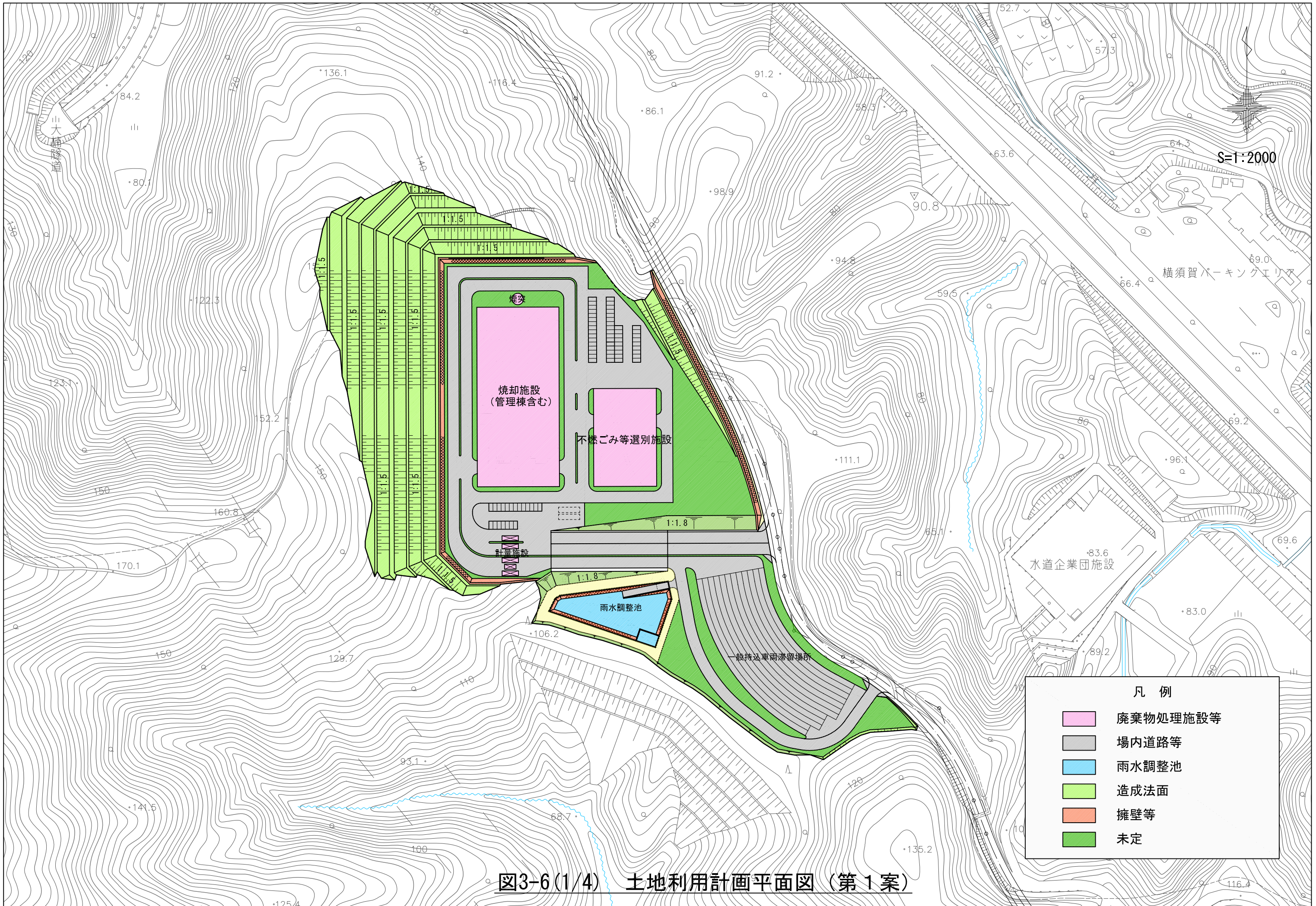


図3-6(1/4) 土地利用計画平面図 (第1案)

(空白)

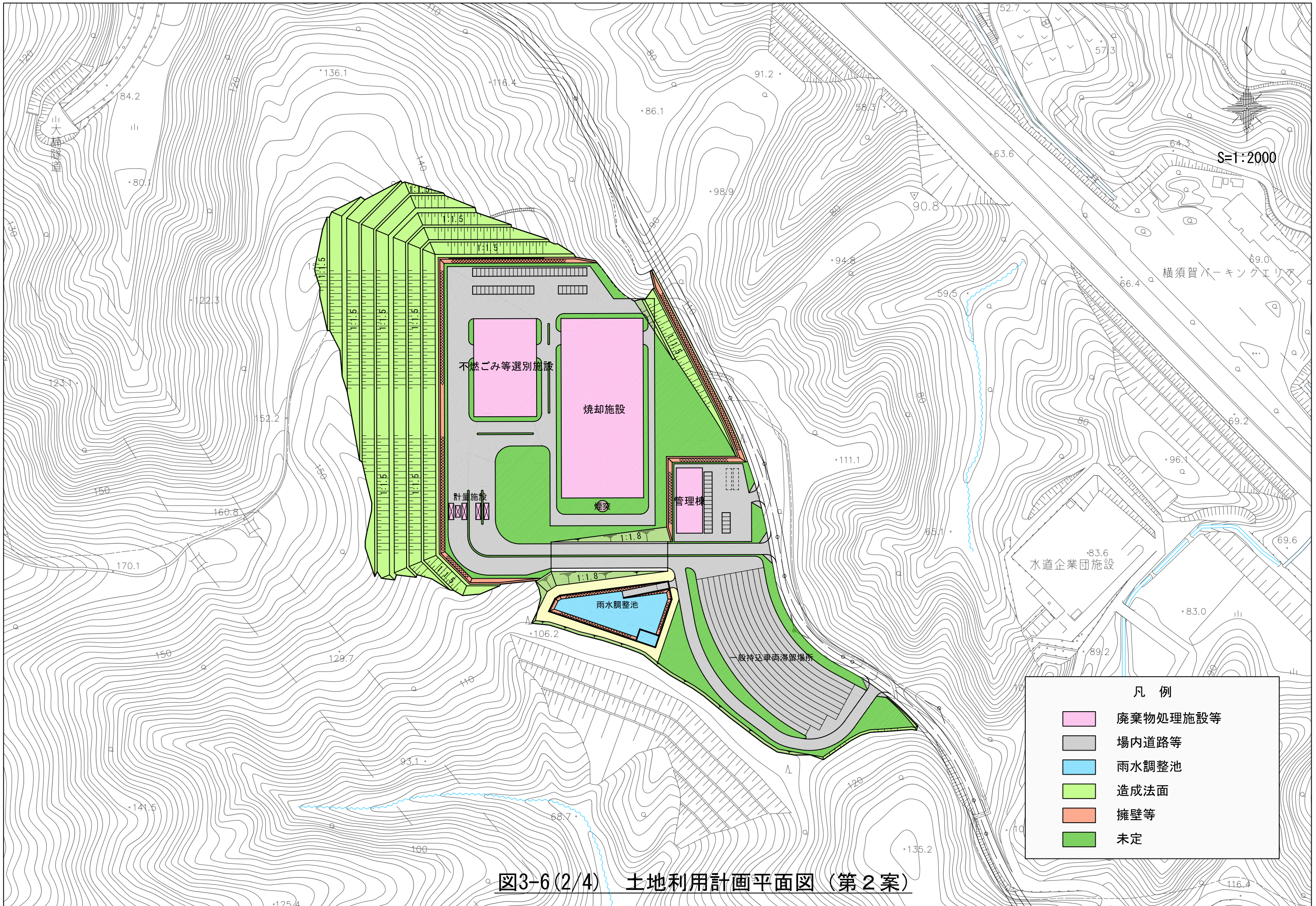
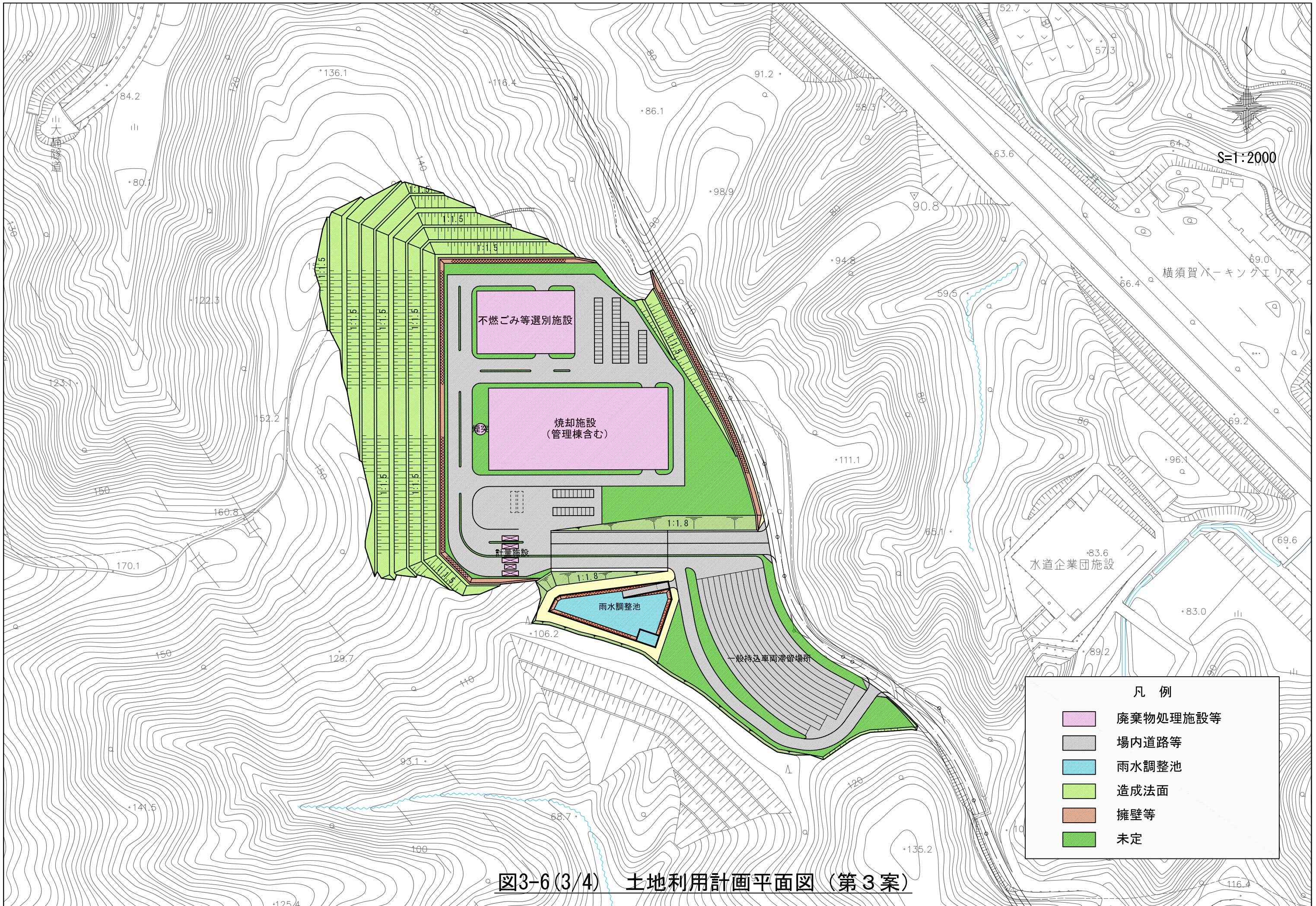


図3-6(2/4) 土地利用計画平面図 (第2案)

凡 例	
	廃棄物処理施設等
	場内道路等
	雨水調整池
	造成法面
	擁壁等
	未定

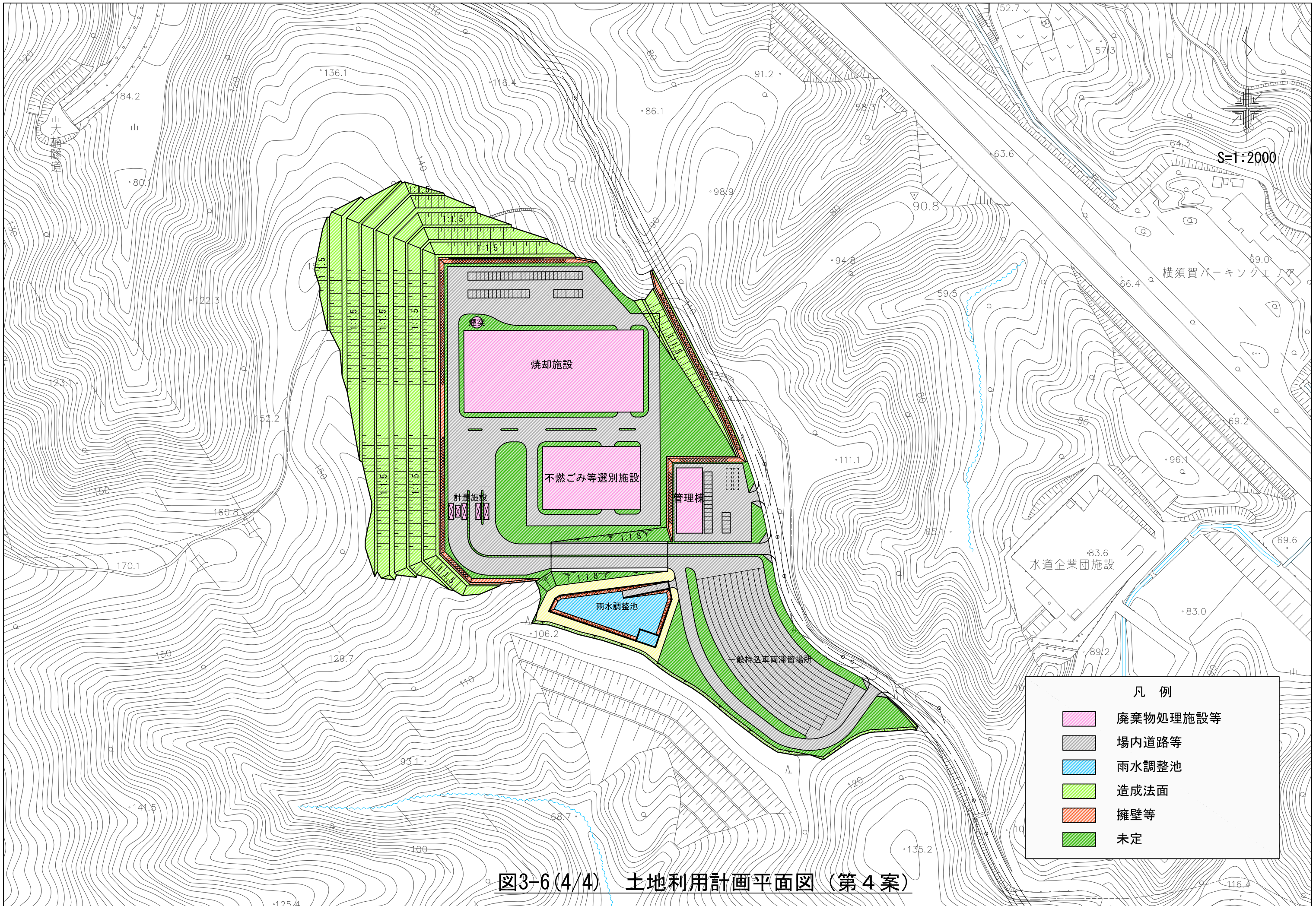
(空白)



凡 例	
	廃棄物処理施設等
	場内道路等
	雨水調整池
	造成法面
	擁壁等
	未定

図3-6(3/4) 土地利用計画平面図 (第3案)

(空白)



S=1:2000

凡例	
	廃棄物処理施設等
	場内道路等
	雨水調整池
	造成法面
	擁壁等
	未定

図3-6(4/4) 土地利用計画平面図 (第4案)

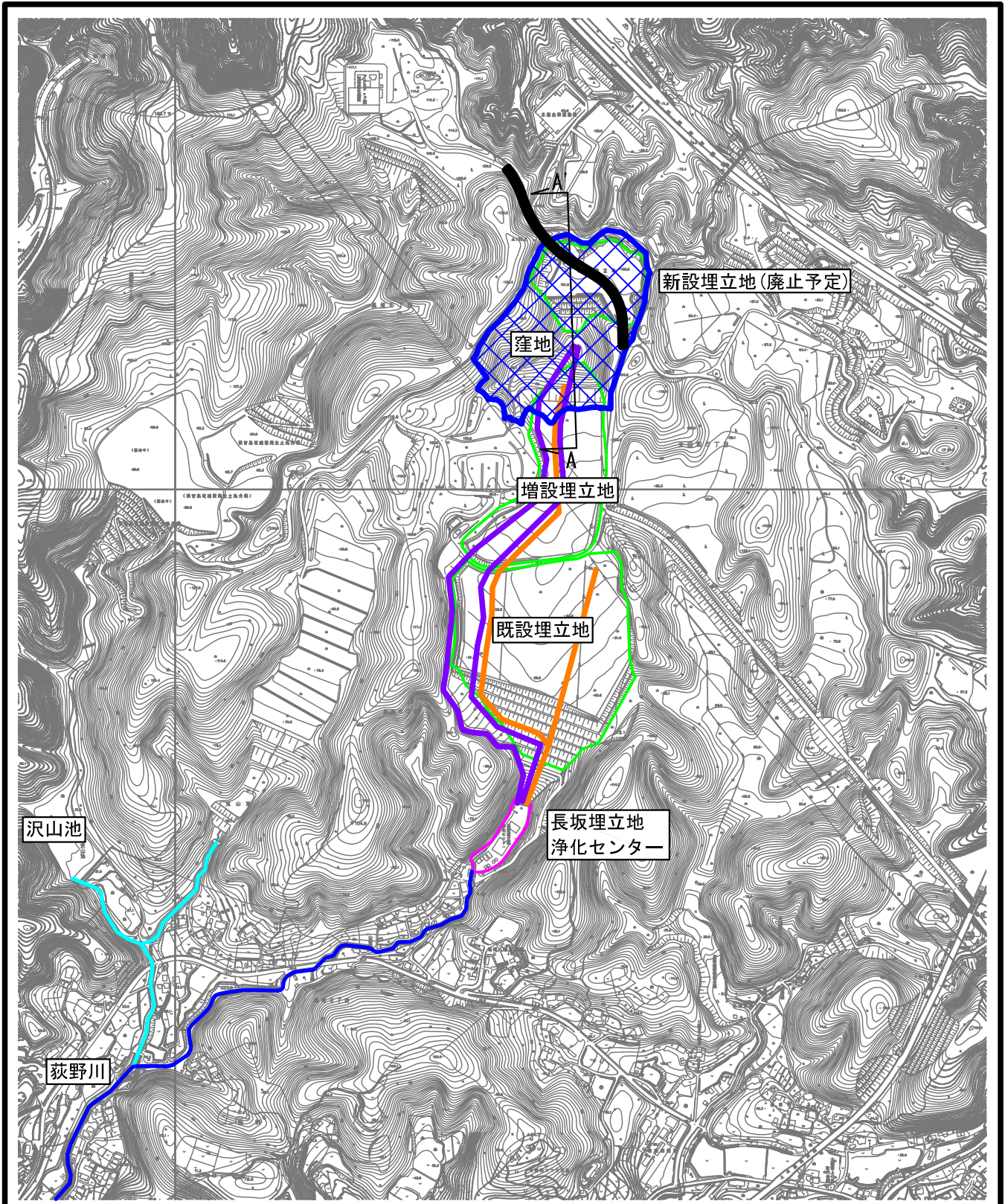
(空白)

2) 発生土処分場

本事業での計画平面図、断面図（処分前・後）は図 3-7、3-8 に示すとおりである。

なお、本事業は廃棄物処理施設敷地造成等に伴い発生する残土を適切に処分するため実施するものである。

残土受入のピーク終了後から、本敷地内に前記既設道路の付け替え工事に着手し、完了後は緑化を推進する。



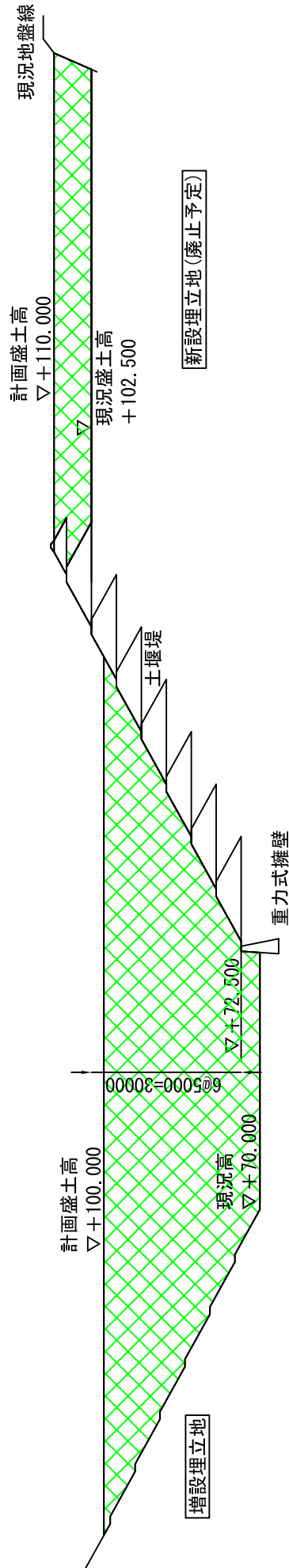
凡 例

- : 発生土処分場
- : 既設改修道路
- : 埋立地
- : 浄化センター
- : 雨水等 (暗渠)
- : 浸出水 (暗渠)
- : 処理水放流河川
- : 河川



図3-7 計画平面図 (発生土処分場)

A-A' 断面



- 凡例
- : 現況地盤
 - ▨ : 残土埋立 (盛土)

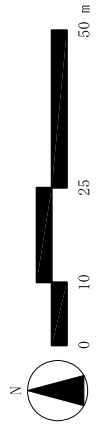


図3-8 計画断面図
(発生土処分場)

3) 宅地の造成

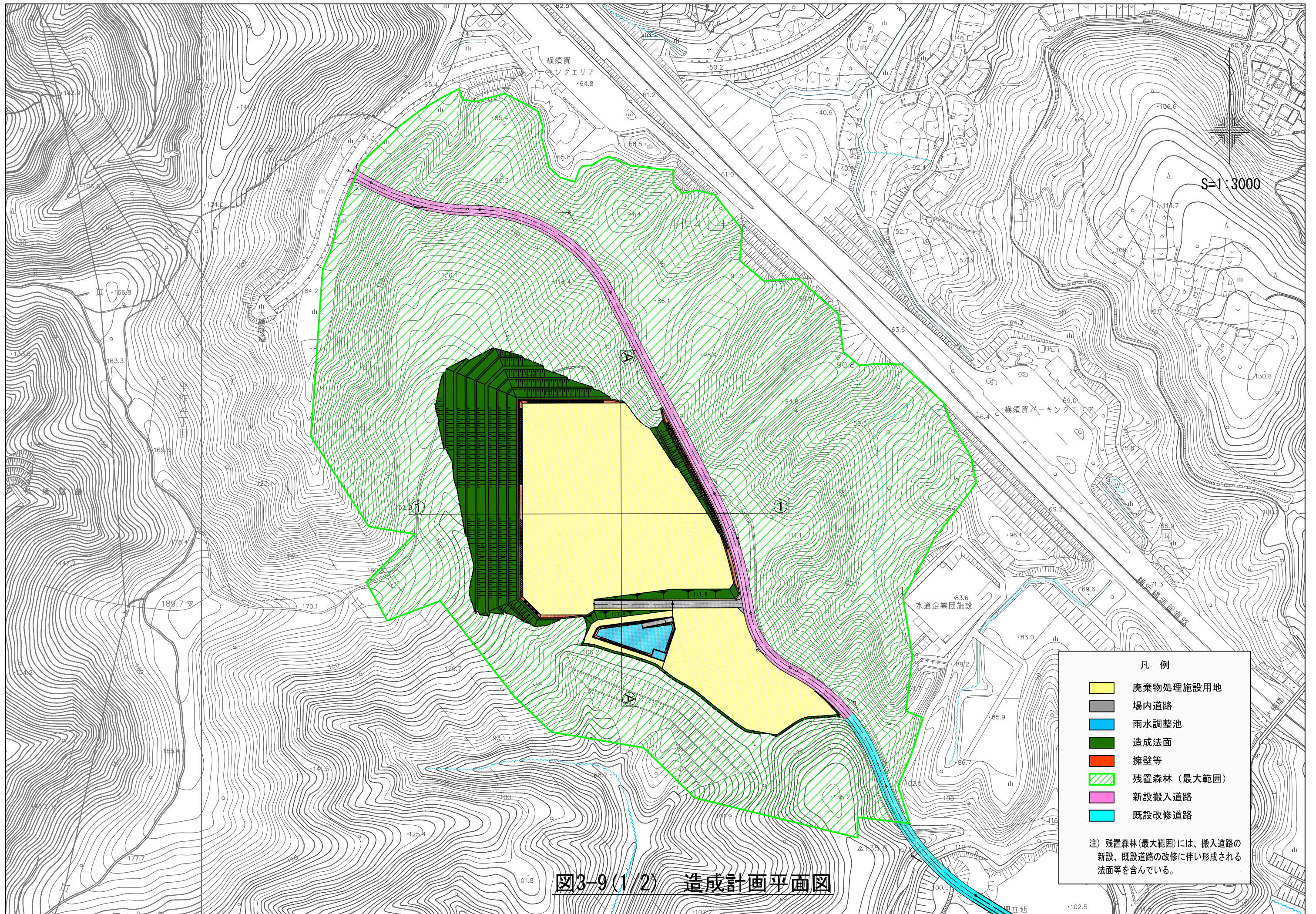
本事業における土地利用計画の概要は表 3-8、図 3-9 に示すとおりである。

本事業は廃棄物処理施設の敷地を確保するため実施するものである。現在は、残置森林を最大約 18.7ha としているが、廃棄物処理施設の施設配置は確定しておらず、今後、日影の影響などを考慮して、残置森林の範囲を確定する。

表 3-8 土地利用計画の概要

区分		面積(ha)	割合(%)
造成面積	施設用地	約3.7	14.9
	場内道路	約0.1	0.4
	雨水調整池(外周管理通路含む)	約0.3	1.2
	造成法面(擁壁含む)	約2.1	8.4
	計	約6.2	24.9
残置森林		約18.7(注)	75.1
合計		約24.9	

注) 約18.7haのうち必要面積を確保して廃棄物処理施設の面積とする。



S=1:3000

凡 例

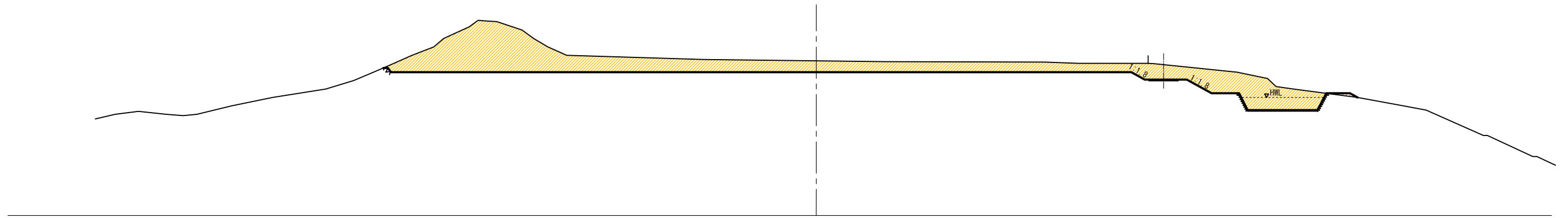
- 廃棄物処理施設用地
- 場内道路
- 雨水調整池
- 造成法面
- 擁壁等
- 残置森林（最大範囲）
- 新設搬入道路
- 既設改修道路

注) 残置森林(最大範囲)には、搬入道路の新設、既設道路の改修に伴い形成される法面等を含んでいる。

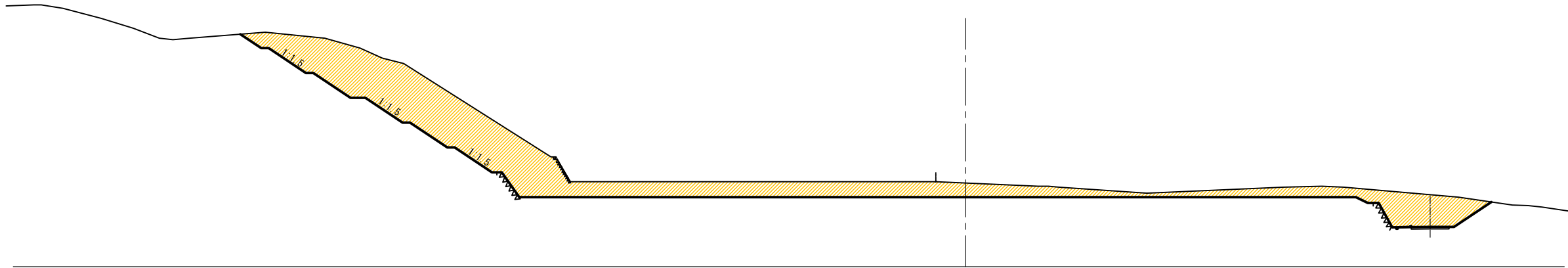
図3-9(1/2) 造成計画平面図

(空白)

Ⓐ - Ⓐ 断面



① - ① 断面



凡例

- 現況地盤
- ▨ 切土
- 計画地盤

図3-9(2/2) 造成計画断面図

S=1:1000

(空白)